

今年もやります! 「共通金券プレゼントセール」

東海村商工会では、「買って 使って 支えよう みんなで 育む 東海村」を合言葉に、共通金券プレゼントセール事業を実施します。村内の商業・飲食・サービス店(76店舗で実施)で、500円お買い上げごとに1ポイントを差し上げます。10ポイント集めると「東海村おすすめセクション」や各店舗で使える共通金券が当たる抽選に応募できます。村内の実施店で買い物をしてポイントをため、ぜひご応募ください。

期間▼7月1日(木) ~ 12月31日(金)

実施店▼「共通金券プレゼントセール」の掲示(のぼり旗や店頭ポスター)のある店舗

抽選月▼8月から令和4年1月まで(毎月1回抽選、全6回)※当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

内容▼▽特別賞…東海村おすすめセクション※(1本) ▽特賞…共通金券3万円分(1本) ▽1等…共通金券1万円分(1本) ▽2等…共通金

券3,000円分(5本) ▽3等…共通金券1,000円分(約80本) ▽おかげさまで20周年記念賞…共通金券2万円分(3本)※東海村おすすめセクションとは、村内で作られている魅力ある「おいしい」贈り物です。詳細は、東海村観光協会ホームページ(<https://www.tokai-kanko.com/>)をご覧ください。

その他▼共通金券は東海村商工会で販売しています。贈答用などにぜひご利用ください。

問い合わせ▼東海村商工会(☎282-3238)



種子からの繁殖大作戦!

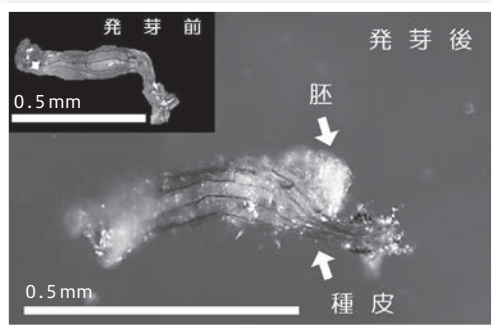
ふるさと歴訪
〜自然を探して〜

村内に自生する希少植物の一つに「オオウメガサソウ」があります。オオウメガサソウは、北半球の冷温帯に広く分布し、国内では北海道、青森県、岩手県、茨城県の限られた地域に見られる絶滅危惧種です。茨城県は国内の分布の南限に当たり、海岸付近のアカマツ林内に見られます。

茨城大学名誉教授の鈴木昌友氏(故人)によると、茨城県のオオウメガサソウは北方の自生地比べ、種子で増えることが非常に少ないとされています。県内のオオウメガサソウが今後も生育し続けるためには、種子から繁殖するチャンスをつくるのが大切です。

東海村の国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(JAEA)の敷地内には、オオウメガサソウの一大自生地があります。このオオウメガサソウを保全するために、村とJAEAの協力の下、慶應義塾大学准教授の糟谷大河氏と、ある試みを始めました。名付けて「種子からの繁殖大作戦」です。

用いたのは、「野外播種



【オオウメガサソウの種子の発芽と成長】

これまで、東海村では5地点で、約3000粒の種子を埋め、半年後、1年後のタイミングで、種子の発芽と成長を追っていました。成長はゆっくりですが、胚が膨らみ種皮を破る様子が確認されています(写真)。

この先、マツ林内、砂丘、落葉樹林内など、さまざまな環境で発芽率を比較し、発芽に最適な場所を探っていきたいと考えています。

試験」という手法です。ナイロンメッシュの袋の中に種子を入れて複数箇所に埋め、一定期間後に掘り起こし、種子の発芽と成長を確認します。発芽しやすく成長の良い場所が分かれば、そこに多数の種子をまくことにより、種子から繁殖するチャンスが増えるというわけです。オオウメガサソウは発芽の際に菌類との共生関係が必要な植物であり、野外播種試験はそのような植物の発芽条件を探る画期的な手法です。これまでに筆者は、オオウメガサソウの最南端の自生地である国営ひたち海浜公園でも同様の試験を行ってきました。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館
伊藤 彩乃